

# 〇いたくろ 議会だより

## 〔今月の主な内容〕

- ◆9月定例会可決議案……………2 P
- ◆一般質問……………3 P
- ◆平成19年度決算認定……………6 P
- ◆各常任委員会研修報告……………8 P
- ◆町政へ一言……………10 P

2008 11 / 1 第107号



### ～スポーツの秋・町民体育祭～

10月12日に町民体育祭が開催され、日頃の運動不足を解消するため、多くの町民が参加した。大歓声のなか小学生による地区対抗リレーでは、抜きつ抜かれつの熱戦が繰り広げられた。

さて、どの地区が1位かな？

# 9月定例議会



平成20年第3回定例会は、9月9日から19日までの11日間の日程で開催されました。

今回の定例会では人事案件、条例の一部改正、各補正予算などの18議案について可決しました。また、平成20年度板倉町一般会計歳入歳出決算と各特別会計歳入歳出決算を認定しました。

人事案件・条例の一部改正・補正予算・決算認定など24議案を可決

7,374万8千円（一般会計）追加補正

平成19年度決算を全会一致で認定

一般質問には3名が登壇

9/9 (火) 議会初日

人事案件

### ◆板倉町公平委員会委員

石川貞夫さん（大字板倉）が辞職し、欠員となるため、後任として石井榮さん（大字岩田）を選任しました。

### ◆板倉町固定資産評価審査委員会委員

委員3名のうち、田村謙一さん（大字細谷）が任期満了に伴い再任されました。

条例の一部改正

◆板倉町報酬、費用弁償及び実費弁償条例の一部改正

地方自治法第203条で規定

されていた内容が、203条の2に改正になることと、改正前の法第207条による実費弁償額の別表に記載がなく、証人等の実費弁償に関する条例の規定により、その内容を担保していることから、法第207条に関する文言を削除するものです。

◆議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正及び板倉町特別職報酬等審査会条例の一部改正

地方自治法の改正により、地方議員の報酬の支給方法等に関する規定を、他の行政委員会等の委員等の報酬の支給方法等に関する規定から分離し、報酬を議員報酬に改めるものです。

◆公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律が交付され、条例中の文言を公益法人等から公益的法人等へ改めるものです。

### ◆板倉町税条例の一部改正

主な内容は、住民税における寄附金税制の拡充及び個人住民税における公的年金からの特別徴収制度の導入によるものです。

その他

### ◆町道路線の廃止及び認定

国営渡良瀬川中央農地防災事業による大箇野幹線遊水池造成事業区域に含まれる町道路線を廃止し、廃止した路線の事業区域外の路線を再認定するものです。

	補正額	予算総額
一般会計	42,071	5,033,341
老人保健特別会計	756	149,160
国民健康保険特別会計	3,061	1,848,967
介護保険特別会計	27,737	861,104
後期高齢者医療特別会計	489	130,353
下水道事業特別会計	△366	240,786
水道事業会計（資本的収入）	3,000の内訳変更	50,001 総額は変わらず

（単位：千円）

可決補正予算

全会一致で平成20年度補正予算を可決しました

# 一般質問

議会 2 日目  
9 月 10 日(木)

## ① 青木秀夫 議員

### 住民請願による合併協議会設置に

### 町長の裁量権をどう行使する考えか



地域医療の充実・まちづくり  
の起爆剤に東洋大医学部を

問・東洋大に働きかけていくべきではないか。

答・町長 医師不足は確かに問題であって、館林厚生病院も医師確保が思うようにいかないのが現実である。そういう中で、東洋大に医学部、附属病院新設を働きかけてはという指摘ですが、確かに指摘のとおり、その後、国も本腰を入れて医師不足対策を考えて、医師増員へと方針転換しているようである。そういう状況変化の中で、東洋大に医学部、附属病院新設を働きかけることは重要な問題でもあるので、そういう方向に向かうように3者協議会の中で、精一杯努力していきたいと考えている。

問・国も地方自治体も、原則間接民主主義という仕組みの中にある。国家国民にとって根幹である憲法改正のような案件は、国民投票が明文化されている。市町村合併のような重要案件についても、直接住民の判断を問う仕組みもあってよいのではないかと思う。住民投票条例設置には、首長提案、議員発議、住民請願という方法がある中で、首長提案が一番簡略である。首長提案で住民投票条例を設置する考えはないか聞きたい。

答・町長 基本的には合併という方向に向かっていると考えている。広域行政検討会の結果ができた時点で、町の意思決定機関である議会に検討してもら

わなければならぬ。ただ、町の存続か合併かという大きな問題については、町民の判断にゆだねることがベターではないかと考えている。そこに到達するまでのさまざまな方法については、今後十分に検討していきたいと思っっている。町民全体の意思の反映である住民投票条例は必要であると基本的に考えている。

合併協議会設置の請願受付後の対応について

問・市町村合併については、方式、内容は異なるが、

首長、議会、住民と3者に合併協議会設置の提案権、発議権がある。合併特例法第4条に有権者50分の1以上の署名をもって、首長に対して合併の相手を示して、合併協議会の設置を請求することができるという規定があるので、住民請願も一つの方法である。ただ、住民請願は請願受付後に町長、議会の同意が必要となる。特に町長の裁量権が「カギ」を握っている

のである。合併協議会設置に住民投票を実施するかどうか、どちらの裁量権を行使するか聞きたい。

答・町長 合併は町がなくなること、姿を消すことであるから、これは大変大事なことである。基本的には、町民の代表たる議会といろいろな面で、十分話し合わなければならぬと考えている。同時に町民全体の意思の反映も必要であると思うので、町民の最終的な意思決定には、住民投票も必要であると考えている。

## ◆一般質問

問・ここ10年、医師不足の深刻さが各界で検討されているが、医師不足は一向に改善されず、いまや社会問題から政治問題に移っている。国の方針も医師抑制から大幅増員へと急に大転換して、医学部新設、医学部定員増へと本格的な医師不足対策に動き出している。医学部新設への国の方針が、ここ数ヶ月激変している中、板倉キャンパスへの医学部新設を3者協議会の場で一刻も早く、力強

住民投票条例設置について

く東洋大に働きかけていくべきではないか。

答・町長 基本的には合併という方向に向かっていると考えている。広域行政検討会の結果ができた時点で、町の意思決定機関である議会に検討してもら



▲板倉東洋大学に医学部、附属病院新設は

一般質問

議会 2日 目  
9月10日 例

② 石山徳司 議員

財政は出ざるを制し 入るを計るに尽きる



郡内市町の 道路特定財源交付額は

問・道路特定財源は自動車取

得税、重量税、揮発油税、地方道路税、軽油取引税から成る。本則、暫定税率からなり、特にガソリン税は48・6円/リとな。昨年町に1億8,419万円交付されたが、国の方針で一般財源化が決まり、地方交付税枠内に入ると、実績交付金額が確認不能になるのではないか。また、19年度郡内市町の特定財源交付額を知りたい。

答・町長 道路特定財源につ

いては、昨年度来苦勞をしてきた。今年5月13日に、突如一般財源化の閣議決定が出て、衝撃を持って受けとめた。税制度を20年に廃止をし21年から一般財源化して、生活者の目線で使い方を見直すことになった。そして地方財政に影響を及ぼさない措置を取ることになった。昨年度の郡内市町への財源交付額は、館林市5億6,868万円、千代田町1億4,315万1千円、明和町1億2,413万8千円、大泉町2億6,961万8千円、邑楽町2億8,418万円となつてい

る。昨年町に1億8,419万円交付されたが、国の方針で一般財源化が決まり、地方交付税枠内に入ると、実績交付金額が確認不能になるのではないか。また、19年度郡内市町の特定財源交付額を知りたい。

物流の基本は道路であり 拡充こそ生活の根本では

問・放送番組で評論家が、道

答・町長 道路整備はこれ以上無駄だという意見もある一方、利用に際しては、良い道路が欲しいという意見に帰する。関東道路協会という組織があり、座長という責任者の立場で意見を聞く機会が多くある。長野県から新潟県まで含めた意見の集約は、道路網の重要性と必

路整備は完成したから一般財源化に賛成する旨の発言が出たり、大学教授からは、国の根幹に関わる制度を一概に全部廃止することは問題だ。という相反する意見が共存する現状と言える。古来から河川に沿った町が繁栄してきた歴史を見ると、現在の物流の基本は道路であり、拡充こそ生活の根本と言える。町長の決意を聞きたい。

要性の再確認となる。今後も道路整備促進には、責任者でもあり頑張つていきたい。また、人々の認識不足解消には、広報活動も必要と考えている。



▲福岡県飯塚市役所前において

1市4町の合併協議内容は

問・去る7月下旬、市町村合

併に対する研修先として、福岡県飯塚市を訪ねた。平成18年3月に1市4町で合併し、面積214km<sup>2</sup>、人口13万4千人の行政体で出発した。昭和初期までは筑豊炭鉱区と

答・総合政策課長 館林市と郡内4町間の広域行政研究会が5月30日に設置され、月に1〜2回の割合で部会を開催し、グラウンドデザイン策定に向け協議している。厚生病院、ゴミ処理、公共交通手段、広域幹線道路、防災体制づくり、福祉、介護、国保組織の広域化など、共通の課題に向けた協議を重ねている。行政細部項目の協議に至っていないが、企画財政、秘書政策グループから各2名の職員を派遣し、調整作業をしている。特に農業基盤は強いが、工業面での弱点があることが課題となつている。

して栄え、現在は北九州市一帯の工業域として経済発展を計っている。大学誘致、工業誘致を進めている点は、板倉町の姿でもある。一方、合併後に1市4町間の行政コスト平準化に向け、1、32項目に及ぶ調整に苦心したことも聞いた。合併不可避の視点から、館林市、邑楽4町の合併協議内容を聞きたい。

# 一般質問

日 2 月 10 日  
議 会 9 月 10 日 ( 火 )

## ③ 秋山豊子 議員

### 親子の絆を深める

### ブックスタート事業の取り組みは



ブックスタート事業が  
実施されない理由は

問・絵本を通して親子の絆を

深める、子育て支援の一環として、ブックスタート事業に取り組むべきと何度が質問したが、まだ実施されない理由と進捗状況を聞きたい。

答・町長 最近の世の中を見

ると親と子、いろんな犯罪等が発生している。子供が親をあやめ、親が子供を虐待するとか、非常に嘆かわしい事件が相次いでおり心配している。親子の絆は小さいときから醸成されるべきであ

る。ブックスタートの事業化が、なぜ、行われな

いのかとの指摘だが、基本的には導入したいと考えている。

答・健康福祉課長 今幾つかの課題があつてなかなかスタートできなかった。

読み聞かせできる方の確保、また、時間帯など体制を整備して、なるべく早い時期に実施したいと考えている。保健センターで毎月一度健診をやっているの、その時に実施をととも考えている。

### インターネット犯罪の

### 効果的対応は

問・インターネットの急激な

普及に伴い子供達の間で、学校裏サイトを使って個人攻撃をするネット

答・教育長 学校の裏サイト

やプロフィールサイトを利用したネット上のいじめが、社会問題になっている。いじめは、携帯電話、また、パソコンを介して行われるということ

で、全国あるいは県・町の携帯電話の所有状況調査を実施している。小学校の場合、全国では31・3%、県33・9%、板倉は17年度調査で6%という結果で、比較的に利用していないと思つている。中学校では、全国の使用率が57・6%、県63・1

上のいじめや出会い系サイトを通じて、犯罪に巻き込まれる事件が相次いでいる。メールやインターネットを利用する中で、本町の小中高校の実態把握や効果のある対応が必要と考えるが。

答・教育長 学校の裏サイト

やプロフィールサイトを利用したネット上のいじめが、社会問題になっている。いじめは、携帯電話、また、パソコンを介して行われるということ

で、全国あるいは県・町の携帯電話の所有状況調査を実施している。小学校の場合、全国では31・3%、県33・9%、板倉は17年度調査で6%という結果で、比較的に利用していないと思つている。中学校では、全国の使用率が57・6%、県63・1

### 情報モラル教育の推進は

%、板倉で63%である。高校生では、全国で96%、板倉高校は100%である。また、ネット上のいじめは、板中でちよつとしたトラブルが発生したが、現時点での報告はない。板倉高校では、トラブルが何件かあつたが、大きな事件や事故は起きていない。

問・情報モラル教育を推進し

て、子供達がネット社会の中で、生きてゆく力や身につけさせることも必要と思うが。

答・教育長 情報モラルにつ

いては、保護者、教職員や関係者を含め研修をしている。生徒には出会い系サイト、ワンクリック詐欺など、さまざまな情報モラルに対しての意識を指導している。

### 小中高校の不登校対策を

問・全国的に不登校対策は急

務である。本町の小中高校の実態を聞きたい。

答・教育長 群馬県では、中

学校の不登校について厳しい状況にあり、ここ2年ほどで急激に増えている。出現率によると全国の小学校では0・34%、県0・33%、板倉が0・12%。中学校が全国で2・91%、県3・05%、板倉が1・51%。高校については、平成18年度調査で、2・29%、全国では1・78%である。いま全国的に言われている「中一ギャップ」対策に、板倉町は各小学校の児童が中学校の生徒と調整して、中学校に子供達が実際に行き、体験学習をしてみるということを2年ほど前から具体的に実施している。



▲携帯電話は便利な反面、危険がいっぱい

【1. 一般会計】	
歳入総額	59億3,345万8,118円
歳出総額	53億6,325万5,150円
差引残額	5億7,020万2,968円
【2. 老人保健特別会計】	
歳入総額	12億5,766万5,247円
歳出総額	12億4,697万9,749円
差引残額	1,068万5,498円
【3. 国民健康保険特別会計】	
歳入総額	19億4,181万5,759円
歳出総額	18億3,442万5,276円
差引残額	10,739万0,483円
【4. 介護保険特別会計】	
歳入総額	8億9,346万3,270円
歳出総額	8億6,999万4,910円
差引残額	2,346万8,360円
【5. 下水道事業特別会計】	
歳入総額	2億7,383万2,926円
歳出総額	2億6,193万8,508円
差引残額	1,189万4,418円
【6. 水道事業会計】	
収益的収入	3億5,954万8,455円
収益的支出	3億2,699万6,200円
差引残金	3,255万2,255円

## 板倉町では

# お金はいくら使う？

(一般会計)

# 53億6,325万5,150円

でした

## 決算審査意見書

【審査期日 平成20年8月21日 監査委員 塩田兼男 青木佳一】

**総括的意見** 平成19年度においては、一般会計及び特別会計を通じて、決算はその計数に誤りがなく帳簿、証憑書類も整備されており、会計経理は適切であります。また、総体としても、財政も健全に運営されており、有効かつ適切な予算の執行によって、町民福祉の向上と地域社会の発展に努力されており、行政目的が大方達成されたものと評価いたします。

今後、地方分権、行財政改革を推進していくうえで、これらの趣旨を十分認識し健全な財政運営の堅持になお一層の努力を期待するものであります。

9/19最終日

平成19年度  
決算（一般会計・特別会計）を  
認定しました

監査委員の意見書と共に町長から提出された、平成19年度一般会計及び特別会計（地方自治法233条）決算について審議し、全会一致で可決・認定しました。

### 一般会計 主な質疑

Q 市川議員

町税の不納欠損額が前年に比べ約2,200万円増えているが、大口滞納者の対応や件数は何件くらいあるのか聞きたい。また、上位10件の滞納金額の状況及び回収金額はどうなっているのか。

A 生活窓口課長

大口滞納者の件数は19件で、現在、預金も含めて財産調査を進めている。滞納整理の取り組みは、9月から12月まで、約700件を抽出し、大口滞納者から対応に当たっている。また、大口滞納者、上位10件の状況は、1件が500万円台、6件が300万円台、3件が200万円台で、合計で約3,400万円と

なっており、回収金額については、約136万円である。

Q 石山(徳)議員

邑楽東部第一排水機場の維持管理において、費用負担を板倉町、館林市、藤岡町分の面積に応じて案分で支出していると聞かすが、この内容について聞きたい。

A 建設農政課長

板倉町、館林市、藤岡町の費用負担の割合については、県の土木部、県土整備部と関東農政局が負担するその残りが地元負担で、流域面積割で算出をしている。負担割合については、板倉町が69・28%、館林市が24・68%、藤岡町が6・04%となっており、90万円が館林市と藤岡町分の費用負担となっている。

Q 小森谷議員

◆決算認定（平成19年度 一般会計質疑）

財政が厳しい中で、義務的経費が増えて、投資的経費が抑えられている現状において、継続すべき事業なのか、廃止すべき事業なのか、見直しをすべき事業なのか、明確にしていくことが行政運営において大事と思うが。

A 総合政策課長

財政改革プランを策定して事務事業すべてを見直す作業を今実施している。その中で優先すべき事業、削減、廃止した事業など、その結果については提示したい。

Q 延山議員

住民健診や特定健診については、受診者に健診結果を周知していると思うが、その内容について聞きたい。また、健診会場が非常に狭く、25から30ぐらいの椅子が並べてある程度で、入りきれないで、廊下で待って受診した経緯がある。その辺の改善策は。

A 健康福祉課長

住民健診の結果については、各受診された方に結果を報告して、その後、健康相談を開催している。今年から特定健診も始まり、受診者も増えているので、健康指導についても充実したいと考えている。また、住民健診は、各地

区の公民館を会場に実施しているが、各会場が狭く混雑をしているのは承知している。日曜日の健診を一度実施しているが、時間帯の工夫をしたり、できるだけ待ち時間がないように実施していきたい。

Q 川野辺議員

昨今騒がれ始めている、モンスターペアレントの関係で、本町において問題が起きているか聞きたい。

A 教育委員会事務局長

板倉町においては、どうしようもないで困っているという、事例の報告は受けていないが、それに近い方は増えていると聞いている。今後とも学校と教育委員会で連携を図りながら問題解決に当たっていききたい。

Q 塩田議員

民営化ということ、ニュータウン内に保育園を建設したが、これまで年間4、5千万円の経費節減となると説明を受けてきた。しかし、従来の保育園関係の経費より、逆に約5千万円くらい増えていると思われる。費用対効果を考えて、数字上で経費が増えるというのは、納得がいかない。

A 町長

保育関係の経費で、一番多くかかっていると思われるのは人件費であり、従来の南、西、東保育園の職員がそっくりどこかのポジションに移れば、それだけで大幅に人件費が減額になる。ただ、今回の人的な配置については、板倉保育園、北保育園が手薄な状態であったことから、そのまま配置することになった。今後、補充については見合わせることにし、だんだんと効果が出てくると考えている。

Q 青木（秀）議員

財政改革プランによると、公債の償還（借金の返済）もここ2、3年で山を越えて、借金残高も減って余裕がでてくる。しかも、40億円もの基金（貯金）もあるのである。合併という時代の流れには、逆らえないと思うので、板倉町の存在するうちに、基金を有効に使うべきである。財政改革プランにある必須事業、例えば100本以上もある陳情受付済みの町道整備などを、40億円の基金を有効に使って、前倒ししてでも積極的に進める必要があるのではないか。

A 町長

財政健全化法があるので、

それを配慮しながら行財政改革を中心に色々な面で板倉町は我慢してきた。今指摘があったように借金も減ってきている。しかも、基金もあるということ、財政健全化法もクリアできる状態になっていると思う。そういう状況にある今、今後ようやく色々な事に手をつけられる時期になっていくと思うので、その辺も十分考慮しながら、色々な町民サービスに努めていきたい。

Q 秋山議員

町内でも側溝が砂利で半分以上も詰まっているところもあり、大きな災害に備えて各行政区で対応してもらおうことが、町負担の軽減や大事にいたらないで済むと感じている。そのためには、行政側の指導や住民に対する意識の啓発など、小さな積み重ねが大きな成果につながると思うが。

A 建設農政課長

町としても大雨により側溝が詰まると、道路が冠水する心配もあり、町内をできる限り巡回をしている。しかし、目が行き届かない部分もあるので、各行政区に日常の点検についてはお願いをしている。

また、区長会、谷田川愛護団体の総会等でも趣旨の徹底についてお願いをしているが、今後、ボランティア等の意識付けも含めて、周知については、広報紙等活用して進めていきたい。

Q 野中議員

主要施策の成果の中に、人間力の向上という文言があるが、この内容と具体的にどのような取り組みをしているか聞きたい。

A 教育長

情報化社会とか取り巻く環境が変わってきているが、それを使う側の人間がしっかりと規範意識とか、生活、ルールとか生活習慣などを家庭環境、社会環境の中でしっかりと身につけていくことが大事であると思っている。そういった知識を使った知恵を出せるような人間が、多く板倉で育つようお願いを込めて、基本的には人間力の向上という表現となっている。施策としては、基礎、基本の学力はしっかりと身につけてもらう部分と生活習慣や国語力を中心としたコミュニケーション能力などが身につくよう、重点的に各学校で取り組んでいる。

## ゴミ処理施設&健康野菜づくり



健康野菜が並ぶ「道の駅・よりっせ」

[研修先]  
・新潟県糸魚川市  
・福島県西会津町

現在、館林・板倉・明和の1市2町で、今後のゴミ処理施設整備について検討がされている。そのモデルケースとなる糸魚川清掃センターを視察。センター建設の基本は、「ゴミを燃やさず、燃料に」である。新設のゴミ処理施設は、国内では初の最新システムであり、ゴミを蒸し焼きにして「炭化物」とし、燃料化

### ゴミを燃やさず 燃料に！

しセメント工場などの原燃料として、廃棄物を再利用するものである。ダイオキシン類の発生防止対策に優れ、資源となる金属類を再利用可能な状態で改修することができ、排水も無放流方式、また、処理時に発生する余熱を利用して、隣接する福祉センターへ、温水を供給し活用しているなどモデルとなるゴミ処理施設である。

西会津町は、「健康のまちづくり」を基本理念に、産業、教育、環境等を含め全ての分野で、「健康」をキーワードにまちづくりを進めている。

### 健康のために ミネラル栽培を普及

「健康な体は健康な食べ物」から、それは「健康な土をつくる」ことだと、農業科学研究所長の中島先生の講演を契機に、先生の指導のもと土壌診断を実施。健康な土、野菜作りへの挑戦が始まった。女

(委員長 野中嘉之 記)

## 1市4町合併&国際交流



研修先の対馬市役所において

[研修先]  
・福岡県飯塚市  
・長崎県対馬市

合併後の効果と住民の声は、市町村合併がクローズアップされてきた今日、1市4町で合併した福岡県飯塚市を研修した。飯塚市では、市税収入の減少、国の三位一体の改革に伴う補助金や地方交付税の削減。一方、社会経済情勢が、大きく変化する中で取り組むべき課題は増大し、債務の多額返済の継続で予算の編制ができないほど、財政状況

が厳しくなったため合併した。今5年計画で129億円の削減計画の取り組みを進めているが、合併後の住民の声は賛否両論です。交付税の大幅な削減等、地方にいわよせが来ている今、経費削減には合併が効果的である。板倉町の現状をしつかり認識し、町民の皆さんに真剣に問いかけ意見を聞いて、町民の皆さんのご理解の上で、方向付けを進めることが、最も大切であ

### 合併後の効果と住民の声は

ると飯塚市に学んできた。

### 世界平和のための 広域的な交流の促進

対馬市の国際交流事業は数多くあるが、代表的な交流イベントは、「厳原港まつり・対馬アリアン祭」、「対馬ちんぐ音楽祭・国境マラソンIN対馬」など日本と韓国で多くの人が参加し、友好交流を図っている。他に学校関係、自治体、民間団体、ホームステイ等々多くの事業が行われている。

(委員長 市川初江 記)

## 国内初の最新システム(炭化方式)「糸魚川市」、健康をキーワードにした町「西会津町」

# 各常任委員会研修レポート

## 経費削減計画の取り組み「飯塚市」、東アジアと日本の架け橋となる国境の島「対馬市」



## ◆議員発議・陳情・その他

### 議会構成の一部変更

議会構成の一部が変更になりました。

■総務文教福祉常任委員会委員長に市川初江議員。同副委員長に石山徳司議員。同委員に黒野一郎議員。

■議会運営委員会委員に市川初江議員。

■館林衛生施設組合議員に石山甚一郎議員。

以上の方々が新たに就任いたしました。

### 議員協議会の位置づけが明確化

議員提出議案を可決しました。

■板倉町議会会議規則の一部改正

これまで正規の議会活動は、本会議及び委員会等への出席などに限られてきましたが、地方自治法の改正に伴い、議員協議会が正規の議会活動として、明確に位置づけられたことにより、会議規則に規定することになりました。

### ごみのない町に

議長 荻野美友

## 議長室エッセイ

先日、友人と久しぶりに会うことができた。お互い近況の話に花が咲き、時のたつのを忘れて話しこんでしまった。その友人はこの夏ドイツに旅をしてきたそうであるが、素晴らしい旅だったようだ。

旅の第一印象とし都市や農村、又、校外の道路等もごみ一つ落ちていないのには驚いたと言っていた。その話を聞き、私は、素晴らしい国だと思った。しかし、私が知る限りかつての日本もドイツのように、ごみ一つ落ちていなかったような気がする。今のわが国はどうだろう。経済成長のおかげで物の豊かな国になったが、その変化のもたらしたものは良いことばかりではないように思う。マナーに欠ける人によりあちらこちらにごみが散乱している。特に人家の無い道路わきは悲惨なものである。いつからこんな心無い人が多くなったのか、情けなく思うと同時に何とかならないものかと気をもむ。こんな気持ちになるのは私だけであろうか。久しぶりの再開が真に豊かであるということはどういうことなのか、今一度私に考えさせる機会を与えてくれた。せめてわが板倉町民にはごみのポイ捨てはしてほしくないものである。一人ひとりの心がけにより、ごみの無い住み心地の良い町にできるのだから。



▲陳情箇所を現地調査する建設農政生活常任委員会

## 陳情

◆町道5214号線の道路拡幅整備についての陳情

陳情者 第7行政区長 石山博美他7名

結果 一部採択

(要旨) 当路線は、麦生地区へ出入りする農耕用車両にとって大変重要な路線ですが、幅員が狭く水路が併設されているため、路肩が崩れやすく、通行に支障をきたしている。水路は集落排水の受け口であり、農業排水にとっては最上

流部で管理が行き届きにくく、土砂の堆積で排水能力が極度に低下している。ついては、周辺地域の利便と環境向上のため、同路線の拡幅整備及び水路の三面化について陳情します。

◆生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択についての陳情

陳情者 連合群馬館林地域協議会議長 小林和隆

結果 継続審査

(要旨) 原油や食料品の価格の高騰が続き、国民、勤労者の

生活を直撃している。日本の景気はさらに減速していると見方も増え、特に生活困窮層にあつては「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」が保障されなくなるおそれがある。賃金が低下する中、物価高騰による購買力の低下は、住民の生活を圧迫させ、さらなる地域経済の悪化や地方行政運営に深刻な影響を与えることが懸念される。国民生活における不安を解消し、その安定を図るため、生活品の物価高騰に対する緊急対策

を求める意見書の採択を陳情します。

◆社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書採択についての陳情

陳情者 連合群馬館林地域協議会議長 小林和隆

結果 継続審査

(要旨) 地域における医師不足をはじめとして、医療、介護、福祉などの社会的セーフティネット機能が著しく弱体化している。非正規労働の拡大は、生活保護基準以下で働く、ワーキングプア層をつくり出

し、社会保険や雇用保険に入できないなど、住民の生活不安は確実に広がっている。7月29日、閣議了解された21年度予算概算要求の基本的な方針において、社会保障関係費予算を2200億円抑制することが示された。これでは、地域の医療体制や介護人材確保は深刻な事態に陥りかねない。不安定雇用が拡大し、雇用情勢の悪化が懸念される中、労働保険特別会計の国庫負担金の削減は、雇用社会の基盤を揺るがしかねない。住民の生活不安を増大させる社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書の採択を陳情します。

# 住

## む場所としてプラスの要因に

設備の整った公園の整備を

朝日野 岡西文太さん



今回、「町政へ一言」のコーナーへ何か書いてくださいと頼まれ、自分が今の板倉町について思うことは、何だろう

と考えました。

普段から、もう少し充実した商業施設やスポーツ施設、設備の整った公園があれば良いのにな、などと思うことがあります。

それらの中でも、週末などに家族で遊べる大きな公園を望みます。アスレチック・芝生の広場・夏には水場で遊ぶ、

鳥や魚が棲む池・人々が安心して散歩をできるような管理された公園。

そのような公園は、近隣から人も人が集まり、また、子供のいる家庭だけでなく、幅広い年代の方が、板倉町を住む場所として、選ぶためのプラスの要因になるのではないのでしょうか。

# 未

## 来を作る子供達のために

子供達の安全な登下校を

大字飯野 篠崎幸子さん



私は、娘の小学校入学と同時に、毎日、登下校のボランティア活動を3年間続けています。朝の登校時においては、

通勤時間と重なるため、車の交通量が大変多く、道路を横断して通学路まで行くのに危険で時間がかかります。そのため、家族の方々の配慮をお願いしたいと思います。

また、下校のときは、学年によって帰宅する時が異なるので、不審者から子供達の身を守るためにも外で作業中の

方や散歩中のおじいちゃん、おばあちゃん方々の、「声かけ運動」を実施していただけたら幸いです。

最後に町政への一言として、未来ある大切な子供達を守るため、防犯パトロールの強化をし、町や地域ぐるみで子供達を見守ってほしいと願っています。

## 『傍聴してみませんか』

### だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会（12月議会）は12月10日からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、議会事務局電話82-1111 内線511番までお気軽にお電話ください。



## 編集後記

万物流転、変幻自在、朝令暮改など、世界の恒ならざる様を表わす言葉は、数限りなくある。家族形態の変化、職業の多様化など、人生を定義する尺度も見当たらない。老人世帯、非正規雇用の増加など、社会構造が地殻変動を呈しているのが実態といえる。旅先の景色変化は、心の清涼感となるが、経済、政治、生活様式の急変はうれしくないことではない。人間の願望と節制、すなわち欲望と我慢。この相反する意識の相剋を律する信念と知性を得ることが学問と言え。町の発展も家庭生活も、人間の意志発現に他ならない。最近の世界的金融危機は、際限のない欲望の膨張が根底にある。ホモサピエンス。人間の別称たる由縁は、知性と英知が前提となる。  
(石山徳司記)